

不思議なクニの憲法

日本国憲法と真剣に向きあおう

2016年6月11日、「声を上げる私たち～「不思議なクニの憲法」の上映会を開催しました。参加者13名。映画は2時間を超す長編ドキュメンタリーです。「この映画は、憲法論議が政治によって進められるのではなく、主権者である私たち国民の間に広がることを願って作られたものです。」とメッセージされています。この夏の参議院選挙の争点として、憲法改正があります。与党側は、争点としていませんが、参議院での3分の2の議席を獲得したとき、憲法改正発議がなされることは確実と思われます。昨年の国会では衆参両議院で、安全保障関連法案が、数の力で強行採決されました。司法界からも違憲の声が強く上がっているにもかかわらず、政府は強硬姿勢で突き進んでいます。戦後生まれの人たちは、現在の日本国憲法の中で誕生し、意識するしないにかかわらず、現憲法下で、不具合なく育ってきました。そんな日本国憲法が、占領軍の押しつけ憲法にされ、太平の眠りの中で、国民主権から国家主権へと流れを変えさせられようとしています。この映画を観て、改めて私たちの現憲法をしっかりと見つめてみようと思いました。映画を鑑賞した皆さんから、感想や考えたことなど思いを寄せていただきました。

(大北秀子)

私たちの未来は
どうなるの？



改憲に違和感

まず各地で各人が声を挙げている事に感動しました。そしてそれだけ危機感もつのらせているのだな一と感じます。私は高校生の時から、先生から日本の憲法が如何に素晴らしいかを学び私もすんなりと‘そうだ’と思って育ってきましたから、今、いろんな切り口から憲法を変えようという声がある事に違和感を持っています。そしてちょっとでもいじりだしたら滅茶苦茶になってしまうと思っています。この映画を見て改めてそう思いました。選挙の争点隠しをして、三分の二を取ったら、一気に憲法を変えてしまおうという今の政権はとても怖いのです。

池田美代

歴史を学び振り返る

今回は貴重なDVD上映会を企画してくださり、ありがとうございました。難しい内容も多く、全て理解できたわけではありませんが、感じたことをまとめたいと思います。

まずは見終わって率直な感想。「今の日本の平和はアメリカによって作られたものなの？」という事。

日本国憲法は9条にしても25条にしても本当に素晴らしいもの。改めてそう思った反面、全てはアメリカのためになるように仕組みられていたのか？と矛盾を感じた。今の平和ぼけとも言える日本。そうなるように仕組みられていたのか？

沖縄での米軍基地の問題も最近また事件が起きたばかり。テレビで流れるニュースを見て8歳の娘が言った。「どうして日本の中にアメリカがあるの？」そう言われた時に、すぐに言葉が出てこない自分がいた。疑問もあまり感じずに「沖縄にはアメリカ基地がある」という感覚がしみついていて、「なぜ？」そう感じる娘の方が、よっぽど普通の感覚なんだと思う。

今の日本は、仕事に家庭の事に・・・と忙しくしていて憲法の存在もあまり感じないのだと思う。DVDで、沖縄には憲法のない時代があったと聞いた。「もし憲法がなかったら？」今当たり前のように送っている生活ができるのだろうか？憲法のありがたさも感じた。

DVDに戦争体験を語るシーンもあった。なぜ昔のことを学ぶのか？スツと自分の中におちる感覚があった。人間は間違いをする生き物だから。だから歴史を学び、ふり返ることが必要なのですね。そのふり返りからわかる事を、今の自分に、社会に活かしているのか？自分にも、今の日本にも投げかけられている大きな課題だと感じた。

高野順子



憲法を熟読の機会に

「不思議なクニの憲法」は観たいと思っていたので近くで上映していただいて、良かったです。

「憲法」は何となく「遠きにありて思うもの」という感じがしていましたが、この映画で、ちゃんと手にとってよくよく眺めてみなくちゃと思いました。

沖縄の人たちが「本土復帰」の時に「憲法9条があるから日本に戻りたい」といったという話を聞いたことがあります。それなのに沖縄に憲法9条がまだ届いていない…それどころか、その日本の良心、信用の要をなくしてしまおうという勢力が強くな

ってきているわけで。

孫崎先生の政治も経済もジャーナリズムもみんなアメリカの支配下にあるというお話で「やっぱりそうだったのか」と背筋が寒くなりました。

内容が盛りだくさんで、理解が追いつかないところもありました。伊勢崎賢治さんのお話は、世界の紛争の現場を知っている方なので、もっと詳しく聞きたかったと思いました。

増谷文子



不思議のクニの憲法

「ほんとうは、みんなで考えなきゃいけない、日米安保」なんてフレーズを、感想文の題名にしようかと考えていました。というのも、護憲とか、立憲主義とか、民主主義とかいう前に、3・11以来色々な刺激を受けた私の中では、「対米従属」というのが、あれやこれやおかしなことの元凶だ、という思いができて上がっていたからです。映画の中で、孫崎さんが、占領下の圧倒的なアメリカの威力の元で構築された、対米協力の人脈が、政界・財界・官僚・学会・マスコミと、あらゆる分野で連綿と継承されて不動のものとなっていることを、語っていました。あの原子カムラも、その1変種なのでしょう。

その岩盤のような「対米従属」の構造を作ってしまったのは、権力者たちだけでなく、私たちの祖父母であり、父母であり、私たちなのだとも思います。連合国という名のアメリカに占領され、東アジアにおけるその戦略基地となった日本。皇国史観から解放されて、「自由と民主主義と平和」を享受し、アメリカに安全保障をゆだねて、経済的な復興を遂げていく日本。朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争、と、アメリカの遂行する戦争に、一つ

も抗わなかった、平和国家・日本。敗戦直後だからこそ奇跡的に成立した日米合作の日本国憲法が、のちには「自衛戦争までは放棄していない」ものに墮して、自衛隊ができたのだとしても、「われらは、全世界の国民が、等しく恐怖と欠乏から免れ、平和の裡に生存する権利を有することを確認する」（前文より）ならば、独立国家・国民としての誇りにかけて、アメリカに抗議するべきであったのに。

すでに、アフリカ北東部の紅海に面したジブチという国に自衛隊の本格的な基地があり、ジブチ政府と地位協定を結んでいる日本はすでに占領者なのだ、という伊勢崎賢治さんの指摘を聞けば、「満州は日本の生命線」と言って軍隊を送り込んで侵略を拡大させた戦前がすぐそこに来ていることに、身震いしてしまう。今現在、日本国憲法は、「ほんとうは、みんなで考えなきゃいけない、戦争と平和」なのに考えない、「不思議のコクミンの憲法」になってしまっています。始めなければいけないのは、どのような世界を希求するのか、とそれぞれの言葉で語り合うことなのだと思います。

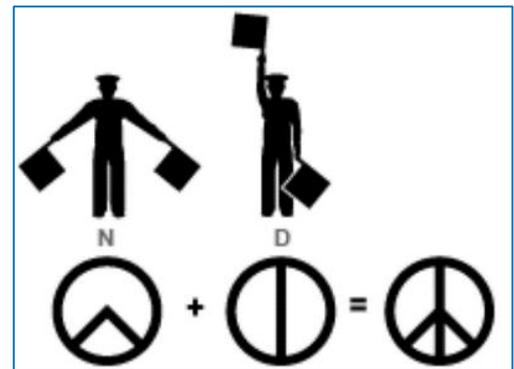
その時間を手に入れるためにも、緊急事態条項で憲法を圧殺しようともくろむ現政権に、参議院での改憲勢力3分の2確保をけっして許してはいけないのです。「野党応援！！」そして個人的には、TPPに甘い野党候補は避けてね、と言いたいです。

伊藤泰子

日本国憲法にノーベル平和賞を

私たちは、日常生活に流されて、つついこの素晴らしい憲法のもとに生活していることを忘れてがちである。しかし、この映画のビラに示されている前文が実行されるためには、行政を監視し、憲法に外れないように見守る義務があることを心に留めたい。そしてノーベル平和賞をもらいたい。原発反対。

大島恵美子



「Nuclear Disarmament（核軍縮）の頭文字」

もっと浸透して欲しい

昨年のおちとも報道されない国会前の安保法制デモ、自民の憲法試案無茶苦茶、沖縄の基地問題。市民たちの取り組みが紹介されていたし、憲法の制定経緯なども含めた識者たちの意見や解説など、丹念に取材されていて、2時間は長かったが、内容はわかり易かった。池上彰さんのような人がTVで解説したら、もっと人々に浸透するだろうな……。願わくば、真の敵であろう安倍首相のバックボーンについても知りたかった。

Yz.S

憲法改悪のリスク、平和が遠のいていく恐怖。傲慢な憲法解釈にノーを言う方が、まだ平和に近い気がする。

Y.S

TPPはいらない

ぼくんちの畑のスイカなのだ



自ら学び投票で意思表示

「不思議なクニの憲法」を見て「福島原発事故の時と同じだなあ」と思いました。新聞やテレビは本当のことを教えてくれません。むしろ自分たちに都合の良い報道しかしなかったら、私たちは何を信じればよいのでしょうか?信じられるのは「自分」自らの力で情報収集しなければ真実は得られません。自ら学びせめて投票という形で。

吉野サチエ



誇らしい日本の平和憲法

私は戦後の団塊世代で、ずっと男女平等や民主主義という言葉を目撃して育ちました。それが、私が生まれた年に発布された日本国憲法のおかげだということ意識していませんでした。憲法9条がどんなに大切なものか知ったのは大学の時です。ある先生が話してくれました。一回限りの授業でしたが私の心に深く根付いたのでした。

憲法を民主主義と離れたものにしようと考えている人は、日本国憲法は占領国に押し付けられた憲法だから自分たちで作らなければいけないと言います。今回映画を見て、憲法が作られた経過を知りました。最初日本人だけで考えた憲法草案は民主主義とはかけ離れたものでした。それまであまりに自由が押さえつけられ、自由にものを考えることが抑圧されてきたためだと私は思います。自分たちに出来なかったのなら、ほかの人の助けを借りてもいいではないですか。助けを借りながら、学びながら、自分自身を変えながら全力で頑張った結果がこの憲法なのだと分かりました。

二度と戦争をする国にならない憲法、二度と理不尽な命令を国から受けない憲法をその時憲法を作った日本人は、強く強く求めたのだと思います。外国の人が、英語で Peace Constitution は日本国憲法のことを指すと言っていました。日本の憲法は平和憲法として知られているのです。私はこの憲法が誇らしいです。

白井操子

他会場からの報告



この映画は、埼玉県で実行委員会として、リレー形式でたくさんの会場で上映されています。他会場からの報告です。

日本国憲法で生きる

「不思議なクニの憲法」 in ムクゲ自然公園(皆野町)、盛況のうちに終了しました!!

参加者は約30名、初めてお会いする方が多くて嬉しビックリ(*^o^*)

ゲストには出演者の辻仁美さんと土屋聖子さんをお招きしました。

辻さんと土屋さんは朝早くから秩父へ小旅行だというのに託児にも加わっていただいちゃいました。お二人ともすごいパワー!

長時間運転→託児→トーク→長時間運転→のあとは選挙のお手伝いだそう。

リレートーク形式で、【9条ネギ】のみそ汁をいただきながら、映画の感想や社会運動と家庭とのバランスなど、胸の内を吐露するような熱い時間を持ってました。

みんな、ものすごい信念を持ってやってるんだね。政治に無責任な人なんて誰もいないんだなあ。映画を見てつながった人の縁に、もしかしたら今、やっとなんか変わるかも?と感じています。

3.11を体験して、身近な事件を体験して、この映画を見て。みんなの中に生まれたのは12条の不断の努力だったり、13条の個人としての尊重だったり、24条の本質的平等だったり、日本国憲法が確保してくれてる大きな自由と使命感。

さあ、明日からも日本国憲法の中で生きていきましょう。

島崎笑夢



6月議会へ提出した「開かれた議会」への要望書回答が6月17日付けで届きました。以下、要望書と回答です。回答については、わかり易く、こちらで要望項目と回答をセットにして掲載しました。

要 望 書

寄居町議会議長 原口 孝 様

日頃は寄居町議会でのご尽力に感謝申し上げます。

さて、寄居町議会議長の2016年年頭の挨拶には、「開かれた議会」をめざし、議会改革に取り組んでおられる旨が記載されておりました。開かれた議会として、「わかりやすい、見える議会内部」であることは必要不可欠な条件と捉えております。

2009年、2013年に当団体ではこの「開かれた議会」への推進を求めて数項目の内容を要望してまいりました。原口孝議長、稲山良文議長あての要望書でした。中でも、過去2回にわたり要望してきました「議会内の各委員会を委員長の許可がなくても、一般町民に傍聴、公開できるようにしてください」の項目に際し、「会議室の形状、公開のための設備等検討中」との回答を受けましたが、その後の進捗状況など全く聞かれません。町民にとって利益になること、大きな経費を必要としない内容です。よりわかりやすい、見える議会へさらに1歩進めるために、議会の前向きで、スピーディーな対応を望み、ここに改めて開かれた議会へ向けての要望を致します。

要望書に対する回答について

寄居町議会議長
原口 孝

平成28年5月18日付けで提出されました要望書につきまして、下記のとおり回答いたします。なお、町議会では、町民により信頼され開かれた議会をめざし、議会改革検討委員会で、要望項目につきましても検討課題として取り組んでいる状況でございますので、ご理解をお願い申し上げます。

要望項目と回答

1. できるだけ早い段階で、各委員会への一般町民の傍聴、公開を可能にしてください。

回答：各委員会への一般町民への傍聴、公開につきましては、委員会室の設備やマイク等の録音機器整備の必要があり、予算措置を含め公開に向けて進めてまいります。

2. 本会議のインターネット中継、録画公開に取り組んでください。

回答：本会議のインターネット中継、録画公開につきましては、尾錠の回収や音響・映像機器の整備等が必要となります。予算措置を含めインターネット中継【録画】の導入を進めてまいります。

3. 議会傍聴へ行けない多くの町民のために、また町民が議会に関心を持てるように、インターネット中継、録画公開が実現するまで、本会議の音声配信をしてください。

回答：本会議の音声配信につきましては、インターネット中継【録画】の導入を進めていることから、音声だけの配信は考えておりません。

4. 可能な限り早い時期に議会日程内容、一般質問内容のインターネット公開をしてください。

回答：議会日程内容、一般質問内容につきましては、議会運営委員会を経て、すみやかに会期前に町ホームページでお知らせいたします。

要望書の回答について

2009年に町議会へ議会改革に向けての要望書を提出してから7年の月日が経ちました。その間、2回の要望書の回答では、各常任委員会の傍聴に関しては、当面は、現在の対応で継続することとします。といった、閉鎖的な回答が繰り返されていました。また、インターネット中継に関しても、「検討してまいります」という回答でした。本気で取り組む意思があるのかと思える回答に私たちは失望せざるを得ませんでした。それから一転、やっと前向きな回答を得ることができました。けれど、「公開に向けて、導入に向けて進めてまいります」が具体的にいつになるのか、しっかり経過を見ていきたいと思えます。常任委員会の傍聴が可能となりましたら、ぜひ傍聴へ行きましょう。

information お知らせ

ネット会員募集中 いつでもどうぞ!

毎日の暮らしの中で、感じていること、困っていることから出発。

自分たちの足元から見つめ、話していきましょう。ぜひ、お仲間になってください。

問合せ・・・大北（582 - 4073）

おすすめ図書（夏休み必読書）

- それでも日本人は「戦争」を選んだ
加藤陽子著（朝日出版社）
- 戦争案内 僕は20歳だった
- 沖縄絵本
戸井昌三（平凡社文庫版）
- 日本はなぜ原発と基地を止められないのか
矢部宏治（集英社）
- 1☆9☆3☆7（イクミナ）
辺見庸（金曜日）



新玉ねぎを使って

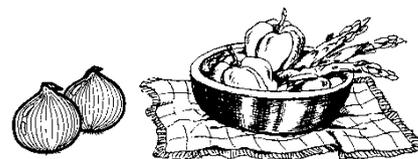
5月の家庭菜園講座でおいしい旬の新玉ねぎドレッシングを使って、ビミタス(レタスの仲間)を試食しました。

とてもおいしいドレッシングで、材料を、ミキサーかフードプロセッサーで混ぜ合わせるだけの簡単ドレッシング。大好評のレシピを掲載します。皆さんもぜひ一度作ってみてください。

材 料

玉ねぎ…300g	中2個	酢…100ml
サラダ油…100g	砂糖…30g	塩…22g

これをいっぺんにミキサーにかけるだけです。ミキサーがないときは、玉ねぎはすりおろす。すりおろし人参を加えるとききれいなピンク色になります。紫玉ねぎを使ってもきれいな色に。



編集後記

政治を変えるのは一人一人の投票行動

大惨事となった原発事故から学ぶことなく、原発の運転期間を原則 40 年としながら早々に 60 年まで延期の認可。国民の 70%もの声だった脱原発、原発ゼロへの道は全く見えなくなりました。

おかしいことが堂々とまかり通る、そんな「政治を変えたい」という思いをたくさんの人たちが抱えています。ただその声をしっかりと受け止められる野党がないのも現実。そんな中で、烏合の衆と言われようが、「現政権を変える」この一致した思いで野党共闘が市民側の働きかけで実現しました。

政治を自分たちの手に取り戻していく、これしか政治を変える力はありません。それは一人一人の投票行動から始まります。そして、拮抗できる野党勢力を私たちの手で作っていくことが重要と思えます。

H.O